



秋厚労ニュース

検査技師も随時募集

人手確保の手立て

回答が前進

臨床検査技師の募集が再開されて10年。最近は応募が少なくて困っています。検査に限らず、働く人手を確保する手立てとして、秋厚労は「採用試験の早期化・随時募集・奨学金」などを要求。3月9日の春闘団体交渉で、経営者は、ほぼこの要求に沿った回答を示しました。

2018年度(平成30年度)秋田県厚生連職員募集要項より<日程は2017年(平成29年)>

募集職種	募集人員	採用試験日程・試験内容		結果発表日	
		一次試験	二次試験	一次	二次
診療放射線技師	5名程度	8/11 一般教養 適性検査 集団面接	9/27 役員面接 (個人)	9/8	10/13
臨床検査技師	15名程度				
理学療法士	若干名				
作業療法士	若干名				
言語聴覚士	5名程度				
臨床工学技士	10名程度				
管理栄養士	若干名				
事務	15名程度	6/3	7/14	6/27	当日告知

募集職種	募集人員	採用試験日(選択)	試験内容	結果発表日
薬剤師	10名程度	5/23 8/10	教養・適性・面接	(要項に記載無)

募集職種	募集人員	採用試験日程		試験内容	結果発表日	
		1回目(選択)	2回目		1回目	2回目
助産師	15名程度	8/7	8/19	10/10	9/21	11/1
看護師	130名程度					

☆☆☆ 秋田県厚生連は、「委託化構想」を理由に、一時期、臨床検査技師の新規採用を全面ストップしました。これに対して、秋厚労は、検査科勤務者会議を中心に、「現場発信」の大運動を展開。職場の仲間たちの頑張りが功を奏し、2007年度から技師の募集が再開しました。しかし、当初、採用は「細胞検査士、超音波検査士」に限定。なおも運動は続き、20

09年度、ようやく「検査技師なら誰でも応募ができる」ようになりました。この経緯の名残とも言える「細胞あるいは超音波検査士の選考優先条項」は、その後もずっと付いています。

医療職2試験早まる

検査スタッフの過半数の賛同を背景に、今年の春闘では、この「選考優先条項を削除すること」という要求を出しました。その結果、「平成30年度募集要項」には、「超音波検査士」は残りませんが、「細胞検査士」は削除されました。また、中央委員会などの話し合いによって、「採用試験の時期を早める要求」を、検査だけでなく、医療職Ⅱ全体に広げることになりました。これについても、結果的に、一次試験が9月から8月に、二次試験は10月から9月に早まり、要求が実った形です。

広がる随時募集の対象

10年ほど前、「医師不足」に続き「看護師不足」が社会問題になったところから、秋田県厚生連の看護職員募集にも「二次募集」「随時募集」という表現が目立ちました。2012年3月9日の団体交渉で、秋

奨学金全体を増額

奨学金に関しては、現在「医師・看護職員・薬剤師」について適用されています。3月9日の団体交渉で、秋

秋田県厚生連「随時募集」の募集要項より

募集職種	募集人員	受付開始日	募集締切日	採用試験	
				実施随時期間	試験内容
薬剤師	5名程度	2016 9/27		2016 10/1~	論文、面接
臨床検査技師	5名程度	2016 11/25	2017 3/17	2016 11/25	
言語聴覚士	若干名			3/31	
臨床工学技士	若干名			~	
助産師			2017 4/28	随時	論文、適正、面接
看護師					

厚労は「言語聴覚士も奨学金の対象に」と訴えました。経営者は聞き入れませんでした。しかし、来年度予算では、奨学金総額を1億3千万円に増額(現行1億円)する旨を公表し、「奨学金枠の拡大」という側面では、要求に沿っていると言えます。

人手の確保は、病院の将来に係る重大課題です。最近、これに関する秋厚労の要求は、より具体的でわかりやすくなっており、そのことが成果に結びついたものと思われれます。

☆☆☆ 具体的なでわかりやすい要求が成果に結びつく ☆☆☆